

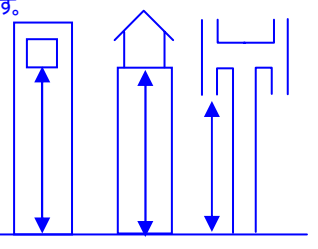
ばい煙の処理の方法

処理施設(煙突)の番号を通し番号で記載してください。

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号		1号煙突		
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号		No. 1 No. 2		別紙1と同じ施設番号を記載してください。
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		煙突		
設置年月日		年 月 日		別紙1と同じように記載してください。
着手予定年月日		平成 年 月 日		年 月 日
使用開始年月日		平成 年 x月 x日		年 月 日
処理能力	排出ガス量(m ³ _N /h)	最大		
		通常		
	排出ガス温度()	処理前		
		処理後		
	ばい煙の濃度	ばいじん(g/m ³ _N)	処理前	
			処理後	
	いおう酸化物(容量比ppm)	処理前		
		処理後		
	カドミウム及びその化合物(mg/m ³ _N)	処理前		
		処理後		
	塩素(mg/m ³ _N)	処理前		
		処理後		
	塩化水素(mg/m ³ _N)	処理前		
		処理後		
	弗素、弗化水素及び弗化珪素(mg/m ³ _N)	処理前		
		処理後		
	鉛及びその化合物(mg/m ³ _N)	処理前		
		処理後		
窒素酸化物(容量比ppm)	処理前			
	処理後			
ばい煙量	いおう酸化物(m ³ _N /h)	最大	処理前	
			処理後	
		通常	処理前	
			処理後	
捕集効率(%)	ばいじん			
	いおう酸化物			
	カドミウム及びその化合物			
	塩素			
	塩化水素			
	弗素、弗化水素及び弗化珪素			
	鉛及びその化合物			
窒素酸化物				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		8時 ~ 18時 4時間/回2回/日25日/月	時
	季節変動		4月 ~ 3月	
排出口の実高さ H _o (m)		20.0 口径0.60 かさ無		
補正された排出口の高さ H _e (m)		20.78		別紙6計算例を参考にして計算し記載してください。傘がある場合は補正の必要はありません。
排出速度 (m/s)		1.96		

煙突の場合は空欄で結構です。その他の処理施設がある場合に記載してください。

地上からの煙突高さ、直径、傘の有無について記載してください。煙突に傘がある場合のH_oは下図のとおりです。



別紙2と同じように記載してください。

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 - 3 補正された排出口の高さH_eは、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。
 - 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添附すること。